

輝人

かがやきびと

このコーナーでは仕事やプライベートで

“輝く人”を紹介します。

第42回は、アカカベ薬局寝屋川池田店で

活躍する、松井 勇樹さんを

クローズアップします！

聴いて、話して、寄り添う。

“やっぱりアカカベが一番！”と

思っていたきたいから。

患者様と接する時間を 何よりも大切に

薬局から聞こえてくる、明るく楽しそうな話し声。わかりやすいスピードと話し方で患者様にお薬の説明をする松井さんの姿があった。「患者様となるべく接点を持って、名前を覚えていただくこと。丁寧な接客をしてくれる薬局だという印象を持っていただくことを大切にしています。お薬はどこの薬局でもらっても値段も内容もほとんど変わりません。患者様が何で薬局を選ぶのかと考えた時、接客力が決め手になると思っています。」

新店立ち上げを通して 変わった意識

開局から2年、開局時は松井さん一人だった寝屋川池田店は、現在薬剤師2名、医療事務1名の3名体制の薬局に成長した。「立ち上げから約1年間は一人で薬局を運営する日々でしたが、この時間を経験できたことで、仕事に対する意識、そして共に働くスタッフに対する意識が大きく変わりました。応援に来てくれる医療事務、薬剤師のみなさんへの感謝を今まで以上に感じるようになりました。新店を任せられ、考え、悩み、工夫して試行錯誤した日々は、私自身のキャリアにおいてとても意味のある時間だったと思っています。」開局から2年が経ち、直近（2022年4月～10月）の新規患者率は30%と好調な数字をたたき出している寝屋川池田店。今後の展望について聞いた。「店舗としては、引き続き処方せん枚数を増やすことに注力していきたいです。近隣に

松井さんの 好きな言葉

「Simple is best」

物事をわかりやすくシンプルに捉えたいという気持ちが強いです。
考えなくても良いことは考えない、本当にやるべきことに時間を使いたい。
服装やインテリアの好みもシンプルなものが好きです。

松井 勇樹
(まつい ゆうき)

2015年4月入社
門真団地店、楠公通店を経て、寝屋川池田店に薬局長として着任。
薬剤師による地域貢献プロジェクト「PJ-C」でもリーダーとして活躍中。

競合店が開局する予定があるのですが、私たちはこれまで通り丁寧な接客を大切に、アカカベファンを着実に増やしていきます。またドラッグストア内でのお薬の説明にも今まで以上に注力し、“アカカベは丁寧に対応してくれる店”という印象をお客様に持っていただきたいと思っています。」

調剤室以外のフィールドが持てる プロジェクト活動の魅力

管理薬剤師として活躍するほか、松井さんは薬剤師の地域貢献プロジェクト「PJ-C」でもプロジェクトリーダーとしてメンバーをまとめている。「リーダーになって間もないので、取り立ててまだ何もできていないのですが、前リーダーが築いてくれたものをしっかり引き継げるようにと思っています。正直言うと私はリーダーという役割には適任がないと自覚していて、新リーダーに任命された時も逃げ出したい衝動に駆られました(笑)。でも、PJ-Cには、地域貢献への思いを持った頼りになるメンバーがたくさんいるので、みなさんの力を借りながら頑張りたいと思っています。プロ

ジェクトの活動を通して、日々の薬局業務だけでは経験できないことをやらせていただいたり、関わる人の幅が広がったりすることが魅力だと感じています。プロジェクトのメンバーに、“PJ-Cを選んで良かった”と思ってもらえるように、さらに活動の幅を広げていけたらと思っています。」

公私共に迎える充実の時

薬剤師として、そしてプロジェクトリーダーとしての意気込みにあふれる松井さん。近い将来に、プライベートでも大きなイベントが控えていると笑顔で話す。「年内に入籍をする予定です。少々待たせてしまいましたが(笑)、ようやく色々なことが動き始めて、身の引き締まる思いです。心強いパートナーを得て、仕事もプライベートも益々楽しみたいです！」

※地域貢献プロジェクト「PJ-C」

地域イベントでの健康測定会開催や、子ども向け薬剤師体験出前授業など、地域に関わり貢献することを目的に活動をするプロジェクト。現在15名が所属し、メンバーがそれぞれの得意分野を活かしながら活躍している。